

セゾンエアコン 据付説明書・電気配線工事説明書

FDTSVP (セゾンインバータ) 401~801

PJC012D003

お願い

- 下記に示すような場所での据付、使用は避けてください。
- ▶油の飛沫や蒸気の多い所 (例: 調理場、機械工場)
熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部分の破損の原因となります。
 - ▶腐食性ガス (亜硫酸ガスなど)、可燃性ガス (シンナー、ガソリンなど) の発生、滞留の可能性がある場所。熱交換器の腐食、プラスチック部分の破損の原因となります。又、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
 - ▶病院などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近く。
ノイズ発生によるコントロールの誤動作の原因となります。
 - ▶潮風が当たる所 (海浜地区)。外板、熱交換器の腐食の原因となります。

工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内外のユニットの取り付けはしっかりしていますか。	落下・振動・騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

△ 注意

- 下記に据付け上の注意事項を示しますので必ずお守りください。
- ▶直射日光の当たる所にリモコンを設置しないでください。リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
 - ▶アースを取ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、誤動作や感電の原因になることがあります。
 - ▶漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電や火災の原因となる場合があります。
 - ▶エアコンの重量に十分耐えられる場所に確実に設置してください。据付けに不備があるとユニットの落下によるケガや振動及び運転音増大の原因になります。
 - ▶ユニットは、据付場所の近くまで梱包のまま搬入してください。
 - ▶冷媒ガスが漏れた時、室内の冷媒温度が限界温度 (0.3kg/m³) を超える恐れのある場合は、窓息防止のために居室と外の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置等の取付けが必要となりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 溶接作業時などで発生するスパッタが本ユニットにあたった場合、ドレンパン等に損傷 (ピンホール) を与え、水漏れにいたる場合があります。ユニットの近くで作業を行う場合は十分な注意をお願いするとともに、ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため、梱包状態のままとしておくかおおいなどにより必ずカバーをしてください。

〈お願い事項〉

- 取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた (特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法) をご説明ください。
- 長時間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご説明ください。電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータ等に通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

①据付のまえに

○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあてられていますか。

機種・電源仕様

確認してください

配管・配線・小物部品

付属品

<付属品> (ユニット内に付属しております。フィルターを外して取り出してください。)

① 本体吊り込み関係

型	紙	個	(左右各1個)
---	---	---	---------

② フレアナット部断熱用

1	パイプカバー		1個	ガス管用
2	パイプカバー		1個	液管用
3	バンド		4個	パイプカバー用

③ パネル関係

丸小ネジ	個	7個	直吹パネル固定用
------	---	----	----------

④ ドレン配管用

1	パイプカバー		2個	ドレンソケット用
2	ドレンホース		1個	
3	ホースクランプ		1個	ドレンホース用

②据付場所の選定

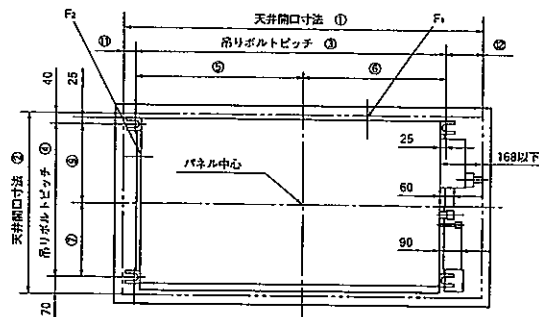
- 据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
 - 冷風または温風が十分行きわたる所。
 - 据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をお勧めください。
 - 室外への配管、配線のしやすい所。
 - ドレン排水が完全にできる所。ドレン勾配のとれる所。
 - 吸込口、吹出口に風の被害のない所。火災報知器の誤動作しない所。ショートサーキットしない所。
 - 直射日光の当たらない所。
 - 周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。

(高湿度の所に据付ける場合は本体の断熱等露付に対する配慮をしてください。本ユニットは、JIS露付条件にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態では運転すると、水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性のある場合には、ユニット本体の全て及び配管、ドレン配管にさらに10mm~20mmの断熱材を取り付けてください。)
- 据付けようとする場所がユニットの重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われるしたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。

1 方向吹出し天井埋込形 (セゾンインバータ) 16-2/6

標準設置	高天井設置 (40~80のみ)	下がり天井設置	各設置方法共通

③吊り込み



A	冷媒ガス側配管
B	冷媒液側配管
C	ドレン配管接続口
D	電源取入口
E	吊りボルト
F1, 2	O A 取入口

ハイパーインバータシリーズ	40, 45	50~63	71~80
標準シリーズ	40~56	63~80	
①	1230	1440	
②	710	730	
③	990	1250	
④	600	620	
⑤	555	675	
⑥	435	575	
⑦	285	295	
⑧	315	325	

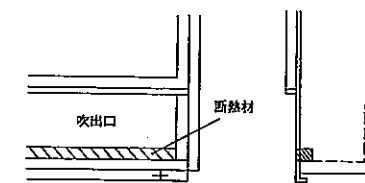
ハイパーインバータシリーズ	40, 45	50~63	71~80
標準シリーズ	40~56	63~80	
⑨	194	250	
⑩	650	670	
⑪	60	45	
⑫	180	145	
⑬	940	1200	
⑭	85	70	
⑮	205	170	
⑯	115	100	

高天井設置改修要領

ハイパーインバータシリーズ: 40~63
標準シリーズ: 40~80

(高天井設置の場合は次の改修が必要です。)

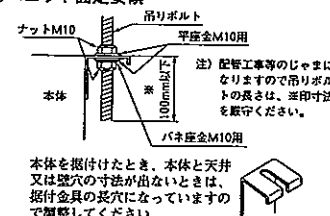
①吹出口に直吹パネルに付属の断熱材を貼り付けます。



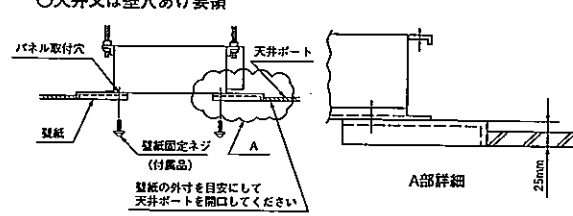
②リモコンより機能の設定を行ってください。(50Hz, 60Hz地区共)
機能設定の「室内機能」を選択し、機能番号「01 高天井設定」を変更してください。
操作方法は、リモコンの添付説明書をご覧ください。

機能番号A	機能内容B	設定内容C	出荷時設定
01	高天井設定	標準	○
		高天井1	

○ユニット固定要領

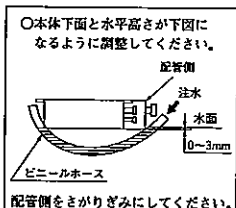


○天井又は壁穴あけ要領

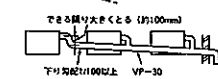
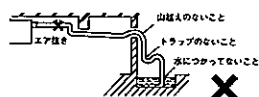
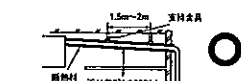
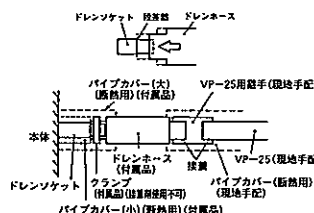
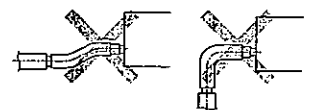


＜水平度の調整＞

水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。

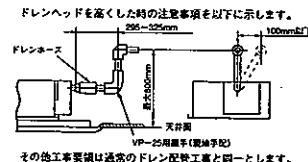


④ ドレン配管 (ツイン機・トリプル機の場合は全てのユニットに行ってください。)



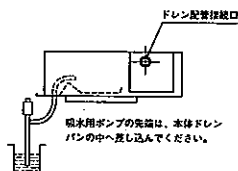
- 付属のドレンホースとVP-25用継手の接着はユニット吊下げ前に行ってください。
- ドレンホースは、ユニットあるいは、ドレン配管の据付時の微少なずれを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っぱって使用された場合、破損し、水漏れに至る場合があります。
- ドレン管は市販の硬質塩ビパイプ一般VP-25を使用してください。
- 付属のドレンホース(軟質塩ビ管)をユニットのドレンソケットの段差部まで装着し、付属のクランプで確実に締付けてください。《接着剤使用不可》
- ドレンホース(硬質塩ビ管)に、VP-25用継手(現地手配)を接着・接続し、この継手にVP-25(現地手配)を接着・接続してください。
- 接着剤は付属ドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。乾燥後、フレキシブルに力が加わった場合、フレキシブルが破損する恐れがあります。
- ドレン配管は下り勾配(1/50~1/100)とし途中山越えやトラップを作らないようにしてください。
- ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力を加えないように注意して行いできる限りユニット近傍で配管を固定してください。
- エア抜きは絶対に設けないでください。
- 複数台のドレン配管の場合左図のように、本体ドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。また集合管はVP-30以上を使用してください。
- 結露が発生し、水漏れをおこす可能性がありますので、下記2箇所は確実に断熱してください。
 - ・ドレンソケット部
 - ・排水テストを実施後、パイプカバー(小:付属品)をドレンソケット部に装着したあと、パイプカバー(大:付属品)にてパイプカバー(小)、クランプ及びドレンホースの一部を覆い、テープによりきつめのないうちに巻いてください。
 - ・室内にある硬質塩ビパイプ

- ドレン配管の出口高さは、天井面より60cmまで高くさせることができますので、天井内に障害物がある場合にエルボ等を用いて施工してください。この場合、立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなりオーバーフローの恐れがありますので、下記の寸法内で処理願います。
- ドレン配管の出口は臭気発生する恐れのない場所に施工してください。
- ドレン配管は、イオウ系有害ガス及び可燃性ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。室内に有害ガス及び可燃性ガスが侵入する恐れがあります。



排水テスト

- 試運転時に排水が確実に行われていること、接続部からの水漏れのないことを確認してください。
- 暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
- 新築の場合には天井を張る前に実施してください。



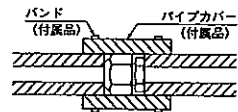
ドレンポンプ強制運転方法

- ドレンポンプの運転がリモコン操作により可能です。
- 運転操作方法は、裏面の⑥ドレンポンプ運転操作をご覧ください。

⑤ 冷媒配管

フレアナット締付トルク

φ 6.35 : 14~18(N・m) (1.4~1.8kg・m)
φ 9.52 : 34~42(N・m) (3.4~4.2kg・m)
φ 12.7 : 49~61(N・m) (4.9~6.1kg・m)
φ 15.88 : 68~82(N・m) (6.8~8.2kg・m)
φ 19.05 : 100~120(N・m) (10~12kg・m)

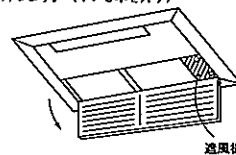


ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。

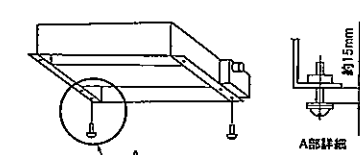
- ※液側配管は断熱しないと結露し水漏れします。
- ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパンで2丁掛け外してください。(このときガスが出る場合がありますが、異常ではありません。)
- フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3~4回転ねじ込み、2丁スパン掛けでしっかりと締め付けてください。
- 配管は下記材質のものをご使用ください。なお別売配管セットを使用されると便利です。(材質) リン酸銅無鉛銅管(C1220T、JIS H3300)
- 室内機のフレア接続部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締め付けてください。
- 配管は、ねじったり、つぶしたりしないでください。
- 配管内はゴミ・切粉・水分が混入しないように施工してください。

⑥ パネル取付け (パネル取付用ボルトはパネルに付属しています。)

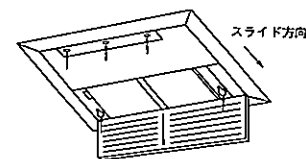
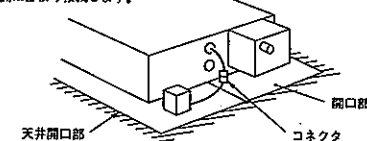
- ①吸込グリを開け、中の遮風板を外します。(ネジ2本を外す)



- ②本体にパネル取付用ネジ2本を取り付けます。



- ③パネルの○穴部(2箇所)を本体のネジに引っかけ、10mm程スライドさせます。パネル取付用ネジ5本にてパネルを固定します。
- ④ルーバモータ、リミットスイッチ用コネクタを開口部より接続します。



- ⑤遮風板を元通り取付けてください。
- ⑥吸込グリを開けて完了です。

電気配線工事

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

① 電源・室内外接続線

お願い

室内外接続線は3心ケーブルを使用してください。

警告

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧、ブレーカーを使用する。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

注意

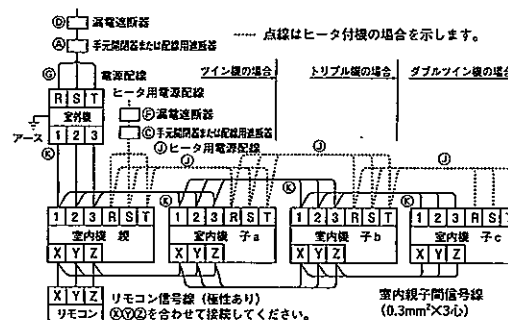
- アース工事を行う。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース線が不完全な場合は感電の原因になります。
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。
- 正しい容量のブレーカー（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）・配線用遮断器）を使用する。大きな容量のブレーカーを使用すると、故障や火災等の原因になります。

シングル機の結線

- ①電源の取り方は下表の接続パターンから選定し、行ってください。室内電源取り及び室内外別電源取りは原則できません。（ヒータ用電源は除く）
※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照のうえ、所轄の電力会社にご相談の上指示に従ってください。
- ②室内外接続線は極性がありますので、必ず同一端子台番号間を接続してください。
- ③電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器（三菱電機製NVCシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
- ④漏電遮断器が地絡保護専用の場合は、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）または、配線用遮断器が必要となります。

	ヒータレス (含む冷専)	ヒータ付 (含むヒータ後付時)	
		標準的な接続方法	※ 例外的な接続方法
三相機			
単相機			

ツイン機・トリプル機の結線



- ①室内親・子機間は端子台①②③及び④⑤⑥の同一番号間を接続してください。
- ②室内基板上的ロータリスイッチSW2により、同一冷暖系統すべての室内機を同一アドレスに設定してください。
- ③室内子機は、室内基板上的アドレススイッチSW5-1、SW5-2により、子a～子cに設定してください。

- ④電源投入後、リモコンの「エアコンNo./点検」スイッチを押し、接続されている室内親・子機No.がリモコンに表示される事を必ず確認してください。

室内機の親・子設定方法

工場出荷時「親」設定	室内機			
	親	子a	子b	子c
室内基板	SW5-1	OFF	OFF	ON
アドレススイッチ	SW5-2	OFF	ON	ON

開閉器・配線仕様

〈シングル機：ヒータレス〉

- 注 (1)配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
- ⑤の記載なき欄の配線こう長は50mです。
- (2)室内外接続線⑥は総長70mまでとしてください。
- (3)街零波不動作形のブレーカーを使用してください。

標準機 (含むヒータレス)	室外機	漏電遮断器	手元開閉器	配線用遮断器	電源配線	注(1)	内外接続線	アース線	
		定格電圧	開閉器容量	定格電圧	太さ×本数	こう長	太さ×本数	太さ	ネジ
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
三相	P40～P56	20A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×2	23m	φ1.6×3	φ1.6 M5
	P63	20A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×2	20m	φ1.6×3	φ1.6 M5
	P40～P63	15A, 30mA, 0.1sec以下	15A	15A	15A	φ1.6×3	29m	φ1.6×3	φ1.6 M5
	P80	20A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×3	33m	φ1.6×3	φ1.6 M5
	P112	30A, 30mA, 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² ×3	32m	φ1.6×3	φ1.6 M5
	P140～P160	40A, 30mA, 0.1sec以下	50A	40A	40A	5.5mm ² ×3	23m	φ1.6×3	φ2.0 M5

ヒートポンプ機 (含むヒータレス)	室外機	漏電遮断器	手元開閉器	配線用遮断器	電源配線	注(1)	内外接続線	アース線	
		定格電圧	開閉器容量	定格電圧	太さ×本数	こう長	太さ×本数	太さ	ネジ
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
三相	P40～P56	20A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×2	23m	φ1.6×3	φ1.6 M5
	P63～P80	30A, 30mA, 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² ×2	24m	φ1.6×3	φ1.6 M5
	PV40～PV56	15A, 30mA, 0.1sec以下	15A	15A	15A	φ1.6×3	29m	φ1.6×3	φ1.6 M5
	PV63～PV80	20A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×3	33m	φ1.6×3	φ1.6 M5
	PV112	30A, 30mA, 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² ×3	23m	φ1.6×3	φ1.6 M5
	PV140～PV160	30A, 30mA, 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² ×3	23m	φ1.6×3	φ1.6 M5

(シングル機：ヒータ後付時)

- 注 (4) ④⑤⑥⑦の仕様については上表のヒータレスと同一です。
 (5) 配線こう長は、電圧降下 2% とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
 ①の記載なき欄の配線こう長は 50m です。
 (6) 室内外接続線 ②とヒータ用電源線 ③は必ず別ケーブルとしてください。

標準機・ヒータ後付時	室外機	漏電遮断器 定格電流		手元開閉器		配線用遮断器		手元開閉器		配線用遮断器		電源配線 注(5)		ヒータ用電源配線 注(5)		アース線	
		④	⑤	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	太さ×本数	こう長	太さ×本数	こう長	太さ	ネジ
		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩		⑪		⑫		⑬	
単相	P40~P56	30A, 30mA, 0.1sec以下		15A, 30mA, 0.1sec以下		30A		20A		20A		15A		15A		φ2.0×2	
	P40~P63	30A, 30mA, 0.1sec以下		15A, 30mA, 0.1sec以下		30A		20A		20A		15A		15A		φ2.0×3	
三相	P40~P63	20A, 30mA, 0.1sec以下		15A, 30mA, 0.1sec以下		30A		20A		20A		15A		15A		φ1.6×2	
	P80	20A, 30mA, 0.1sec以下		15A, 30mA, 0.1sec以下		30A		20A		20A		15A		15A		φ1.6×3	

ハイパワー・ヒータ後付時	室外機	漏電遮断器 定格電流		手元開閉器		配線用遮断器		手元開閉器		配線用遮断器		電源配線 注(5)		ヒータ用電源配線 注(5)		アース線	
		④	⑤	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	太さ×本数	こう長	太さ×本数	こう長	太さ	ネジ
		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩		⑪		⑫		⑬	
単相	P40~P56	30A, 30mA, 0.1sec以下		15A, 30mA, 0.1sec以下		30A		30A		15A		15A		φ2.0×2		16m	
	PV40~PV56	15A, 30mA, 0.1sec以下		15A, 30mA, 0.1sec以下		15A		15A		15A		15A		φ2.0×3		32m	
三相	PV63	30A, 30mA, 0.1sec以下		15A, 30mA, 0.1sec以下		30A		20A		20A		15A		15A		φ1.6×3	
	PV80	30A, 30mA, 0.1sec以下		15A, 30mA, 0.1sec以下		30A		20A		20A		15A		15A		φ1.6×3	

(ツイン・トリプル機：ヒータ付)

- 注 (7) ④⑤⑥⑦の仕様については上表のヒータレスと同一です。
 (8) 配線太さ ③は 20m までの電圧降下 (2%) を見込んであります。現地の配線が 20m を越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
 (9) 室内機にヒータ装着した場合、室外機アース線太さを見直してください。

ヒータ装置	室内機ヒータ 合計容量 (三相)	漏電遮断器		開閉器 (A)	配線太さ 注(10)
		④	⑤		
下	4.3kw以下	15A, 30mA, 0.1秒以下		30	φ1.6
	5.0kw以下	15A, 30mA, 0.1秒以下		30	φ2.0
	6.9kw以下	20A, 30mA, 0.1秒以下		30	φ2.0
上	10.0kw以下	30A, 30mA, 0.1秒以下		30	5.5

室外形式	アース線	
	太さ φ	ネジ
80	φ1.6	M5
112~140	φ2.0	M5
160	5.5	M6

(リモコン) リモコンは別売です。

リモコンの据付

お願い 次の位置は避けてください。

- 1) 直射日光の当たる場所
- 2) 発熱器具の近く
- 3) 湿気の多い所・水の掛る所
- 4) 取付面に凸凹がある所

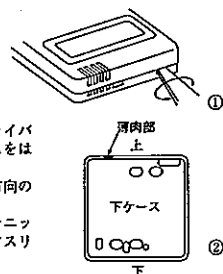
注意

リモコンの上ケースを取り外した場合は、リモコンを据付けするまで、基板の上にゴミ等は水分等が付着しないように、梱包箱内に入れて保護してください。

取付要領

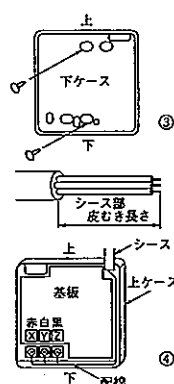
露出取付

- ① リモコンケースをはずしてください。
 ● リモコン上部の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースをはずします。
- ② リモコンコードの取だし方向は、上方向のみ可能です。
 ● リモコン下ケース側の上方内部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。



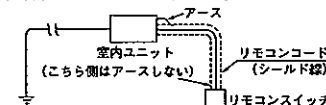
- ③ リモコン下ケースを付属のねじ 2 本で壁に取り付けます。
- ④ リモコンコードを端子台に接続してください。室内機とリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子には極性があるので間違えると運転できません。
 端子：①赤線、②白線、③黒線
 リモコンコードは、0.3mm²(推奨)~最大 0.5mm²以下としてください。
 また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。
 各配線の皮むき長さは下記の通りです。
 黒：195mm
 白：205mm
 赤：215mm
- ⑤ 上ケースを元通りに取り付けてください。
- ⑥ リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。
- ⑦ 室内機の機能や用途に合わせて、機能設定をしてください。

⑥ 機能の設定の項をご覧ください。



リモコンコードを延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

- コードは必ずシールド線を使用してください。
 ● 全形式：0.3mm²×3心 (MVVS3C (京阪電線))
 注(1) 延長距離が 100m を超える場合は、下記のサイズに変換してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大 0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。
 100~200m 以内.....0.5mm²×3心
 300m 以内.....0.75mm²×3心
 400m 以内.....1.25mm²×3心
 600m 以内.....2.0mm²×3心
 ● シールド線は必ず片側のみをアースしてください。



埋込取付

- ① JIS ボックスとリモコンコード (延長の場合はシールド線を必ず使用) をあらかじめ埋込んでおきます。

(使用可能 JIS ボックス)

- JIS C 8336

- 1 個用スイッチボックス (客先手配品)
- 2 個用スイッチボックス

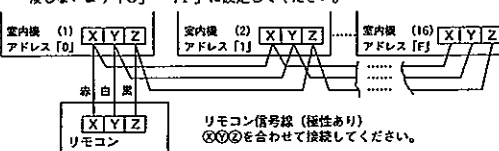
1 個用スイッチボックスの場合 2 個用スイッチボックスの場合

- ② リモコンの上ケースを外してください。
- ③ 下ケースを M4 ねじ 2 本 (頭 φ 8 以下) を用意して JIS ボックスに取付けてください。
- ④ リモコンコードをリモコンに接続します。
- ⑤ 露出取付の項をご覧ください。
- ⑥ 上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。
- ⑦ 室内機の機能や用途に合わせて、機能設定をしてください。

⑥ 機能の設定の項をご覧ください。

1 リモコンによる複数台 室内機制御

- 室内ユニット最大 16 台まで接続可能です。
 ① 各室内ユニット間を 3 心のリモコン線にて渡り配線してください。
 延長リモコン線については、前記の項「リモコンコードを延長する場合の注意」をご覧ください。
 ② 室内基板のロータリースイッチ SW2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」~「F」に設定してください。

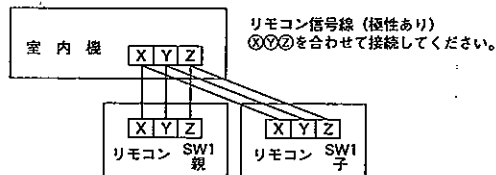


- ③ 電源投入後、リモコンの「エアコン No」を押すと室内機アドレスが表示されますので、[A] ボタンで接続されている室内機アドレスがリモコンに表示されることを、必ず確認してください。

D 複数リモコン使用時の
親子設定

室内ユニット1台 (又は1グループ) に対して最大2個までのリモコンを接続できます。

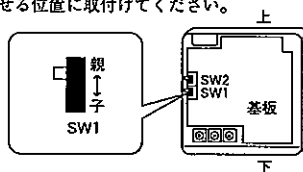
①子リモコンのリモコン連絡線 (3心) は室内ユニットから取る方法と親リモコンからの渡り配線による方法があります。



②子リモコンの切換スイッチSW1を子に設定してください。
工場出荷時は親設定です。

(注) リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。
親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。

スイッチ	設定	機能の内容
SW 1	親	親リモコン
	子	子リモコン



E 機能の設定

●本機の名機能は、リモコンと室内機を接続した際に、標準的な設定である、下表「○」印の項目に、自動的に設定されます。
従って、新たに設定をする必要はありません。

但し、「○」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定をしてください。

設定方法は、リモコンの据付説明書をご覧ください。

●□印の項目は、本機には機能がありませんので、設定しないでください。

(1) リモコン機能

機能番号④	機能内容⑥	設定内容③	初期設定
01	冷暖昇降設定	昇降無効 有効50Hz地区 有効60Hz地区	○
02	自動運転設定	自動運転有効 自動運転無効	○
03	温度設定	温度設定有効 温度設定無効	○
04	運転切換	運転切換有効 運転切換無効	○
05	運転/停止	運転/停止有効 運転/停止無効	○
06	風量調整	風量調整有効 風量調整無効	○
07	風向調整	風向調整有効 風向調整無効	○
08	タイマー	タイマー有効 タイマー無効	○
09	Wi-Fi設定	Wi-Fi有効 Wi-Fi無効	○
10	停電復帰設定	停電復帰有効 停電復帰無効	○
11	換気設定	換気接続なし 換気接続あり	○
12	温度範囲設定	表示変更有効 表示変更無効	○
13	室内ファン速調	ファン3速 ファン2速 ファン1速	○
14	冷凍/ヒートポンプ	ヒートポンプ 冷凍	※
15	外部入力設定	個別運転 全台同一運転	○
16	LED表示設定	LED表示有り LED表示無し	○
17	ルンバ制御設定	ルンバ4位置停止 ルンバ7位置停止	○

(2) 室内機能

機能番号④	機能内容⑥	設定内容③	初期設定
01	高天井設定	標準 高天井1	○
03	ファンサーモ設定	表示しない 180時間後 600時間後 1000時間後	○
04	ルンバ制御設定	ルンバ4位置停止 ルンバ7位置停止 ルンバ7位置停止	○
05	外部入力切換	標準入力 B7入力	○
06	運転許可/禁止	通常運転 有効	○
07	暖房室温補正	通常運転 室温補正+3℃	○
08	暖房ファン制御	通常運転 停止→送風	○
09	凍結防止温度	2.5℃ 1℃	○
10	凍結防止制御	ファン制御有効 ファン制御無効	○
11	電気集塵機	ファン制御有効 ファン制御無効	○
12	加湿器制御	ドレモト非運動 ドレモト運動	○

注1:「※」印の初期設定は、接続される室外機の機種 (ヒートポンプ機/冷凍機) により、自動判別されます。

注2: (1) リモコン機能 の⑦ルンバ制御設定を変更する場合は、(2) 室内機能 の④ルンバ制御設定も変更してください。

G 冷房試運転操作

リモコンを次の手順で操作してください。

1. 冷房試運転の開始

- ①「運転/停止」ボタンを押して、運転します。
- ②「運転切換」ボタンにより、「冷房」を選択します。
- ③「試運転」ボタンを3秒以上押します。
「項目」で選択 → 「セット」で決定 → 「冷房試運転」表示が切り換わります。
- ④「冷房試運転」表示で、「セット」ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。
表示は、「冷房試運転」となります。

2. 冷房試運転の解除

- ①「運転/停止」ボタン又は、温度設定「V」ボタンを押すと、冷房試運転を終了します。
「冷房試運転」表示が消灯します。

運転データの確認

リモコン操作により、運転データの確認ができます。

- ①「運転」ボタンを押します。
「項目」で選択 → 「セット」で決定 → 「運転データ表示」表示が切り換わります。
- ②「運転データ表示」表示で、「セット」ボタンを押します。
- ③表示が「室内00」 (点滅) となります。
▲▼ボタンで、表示したい室内機番号を選びます。
(室内機が一台中しか接続されていない時は、室内番号は切り換わりません。)

④「セット」により確定します。
(室内機番号が点滅から点灯に変わります。)
「データ読込中」 (データを読込む間点滅表示)

↓
「運転データ」表示され、01番のデータが表示されます。

⑤▲▼ボタンにより、現在の運転データを01番より順に表示します。
表示される項目は右記の通りです。

※機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。

⑥室内機を変更する場合は、「エアコンNo.」ボタンを押すことにより、室内機選択表示に戻ります。

⑦「運転/停止」ボタンを押すと、終了します。

設定の途中で、「リセット」ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。

番号	データ項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
04	内熱交温度1
05	内熱交温度2
06	室内ファン速度
07	室内運転時間
08	外気温度
09	外熱交温度1
10	外熱交温度2
11	運転Hz
12	風圧
13	吐出管温度
14	ドレム下温度
15	CT電流
16	室外ファン速度
17	静音モード有効/無効
18	63Hz ON/OFF
19	63Hz1 ON/OFF
20	63Hz2 ON/OFF
21	コック運転時間
22	拡張弁開度1
23	拡張弁開度2

F ドレンポンプ運転操作

ドレンポンプ運転がリモコン操作により可能です。
リモコンを次の手順で操作してください。

1. ドレンポンプ強制運転の開始

- ①「試運転」ボタンを3秒以上押します。
「項目」で選択 → 「セット」で決定 → 「冷房試運転」表示が切り換わります。
- ②「冷房試運転」表示の時に、「V」ボタンを一度押し、「ドレンポンプ運転」表示させます。
- ③「セット」ボタンを押すと、ドレンポンプ運転を開始します。
表示: 「ドレンポンプ運転」 → 「セット」で停止

2. ドレンポンプ運転の解除

- ④「セット」ボタン又は、「運転/停止」ボタンを押すと、ドレンポンプ強制運転を停止します。
エアコンは停止状態となります。

H 制御の切換

(注) □ 囲みは、工場出荷時の設定

J-1	短絡	送風運転入力 (CnT) をレベル入力	SW9-1	オートリフトパネルの降下長さの設定
	開放	送風運転入力 (CnT) をパルス入力	SW9-2	
J-2	短絡	暖房サーモOFF時送風	SW9-3	OFF
	開放	暖房サーモOFF後5分間停止し送風	ON	応急運転 (系統上のコネクタCnDも同時に動く)
J-3	短絡	通常運転	SW9-4	OFF
	開放	送風運転入力 (CnT) により運転制御	ON	高天井制御 (ファン回転数アップ)
J-4	短絡			
	開放	暖房室温検知補正+3℃		